



CTデータから考える埋伏智歯 の診断、治療、管理

8月20日(日)
14:00~17:00

講師

福岡県・やましる歯科口腔外科・院長

山城 崇裕先生

会場 兵庫県保険医協会会議室

- ・神戸フコク生命海岸通ビル5階
- ・JR・阪神「元町」駅東口から南へ徒歩7分

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を80人とします
ので事前申込をお願いします。会場に手指消毒液をご用意し、
会場換気を致します。

【Zoomによる視聴希望の方】

メールの件名を「8/20歯科定例研Zoom視聴希望」とし、本文に①医療機関名②参加者名③職種…を記載の上、ysng@doc-net.or.jp（事務局・吉永宛）へ送信ください。招待メールを返信します。

※お問い合わせは078-393-1809まで

埋伏智歯抜歯は古くより一般歯科診療所で頻繁に行われている処置であるが、その手技が難しいと判断した場合には専門医療機関に抜歯を依頼することが多い。平成24年診療報酬改定において、歯科用コーンビームCT（CBCT）検査が保険導入されて10年が経過する。CTを撮影することで詳細な診断や治療計画の立案が可能になり、解剖学的構造を患者に示すことでインフォームドコンセントがより円滑に行えるようになった。

現在、演者の歯科医院で蓄積した1,000症例以上のパノラマX線写真・CTデータを解析することで、今まで考えもしなかった下顎智歯の特徴を知ることができた。今回、現在まとめた下顎智歯の特徴を報告し、抜歯の適応、抜歯の難易度、術後合併症について考察する。

（山城 記）

⇒協会未入会の先生はこの機会にご入会の上ご参加ください（入会金なし/月会費：歯科開業医5,000円、同勤務医3,000円）

8月20日歯科定例研究会 来場参加申込書（返信FAX：078-393-1802）

地区〔	市区町〕	医療機関名〔	〕
tel〔	〕	fax〔	〕
氏名〔	〕	職種〔	〕